

海外安全対策情報（2015年10月～12月分）

在ユジノサハリンスク日本国総領事館

1 社会・治安情勢

3月の前知事の汚職容疑による逮捕に続き、州政府幹部の解任等の頻繁な人事異動が進められたが、9月には知事選が平穩に行われ新政府が発足した。当地は政治的には安定しており、現在のところ治安情勢に悪影響を及ぼすような反政府勢力等の動きは特段見られないが、8月に当地市裁判所がイスラム教経典コーランの解説書籍に関し、同書籍を過激主義的資料と認定し、当地に居住するイスラム教信者が反発する状況が生じたが、その後、州裁判所が市裁判所の認定を破棄し、問題は収束した。

他方、当地ではサハリン州が北方領土を事実上「管轄」していることから、北方領土問題に対し、ロシアの他の地域と比較して極めて過敏な反応を示す傾向があり、例年2月7日（我が国では北方領土の日）或いは、その日に前後して当館建物前において、北方領土返還反対団体による抗議集会が行われている。平成27年については、「北方領土の日」に集会は行われなかったものの、11月16日及び同月18日に当館建物前等で北方領土返還反対団体による小規模な抗議集会が行われており、今後も引き続き注意を要する。また、本年、当地では、第二次大戦終了70周年に関連し、9月2日前後には軍事パレードや「日本軍国主義からのサハリン南部の解放」をテーマに種々の行事が実施され、サハリン州政府主催の国際学術会議においては領土問題に関する対日批判がなされたものの、反日的な集会等の開催は見られなかった。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 一般的治安情勢に関しては、サハリン州の各地において殺人のほか、高齢者や女性などの弱者を狙った路上強盗、住居不法侵入等による窃盗、あるいは銃器を用いた凶悪犯罪、未成年者も含む女性への婦女暴行、大麻等の薬物所持・売買事案が後を絶たない状況である。殺人は、飲酒によるトラブルに起因するものが多いが、金品の強奪を目的としたものも発生している。今期においては邦人被害事案は発生しなかったが、過去には当地在留邦人が強盗被害に遭うケースも発生しており、引続き当地治安情勢への留意が必要である。

(2) 治安当局の発表によれば、2014年にサハリン州において治安当局が認知し、登録された犯罪件数は11,509件であり、2013年(12,338件)と比較し、829件の減少となった。以下の内訳にもあるとおり、2014年は前年と比べ全犯罪登録件数は減少しているものの、殺人、重度傷害、強姦の人の生命に直接関わるような凶悪事件の登録件数が増加しているほか、薬物違法流通についても増加している状況にあり、また、2013年2月には、ユジノサハリンスク市内に所在する教会に男1名が侵

入して銃を乱射し、2名が死亡、6名が負傷する事件が発生しており、これらの犯罪は在留邦人の生活安全上の直接的な脅威ともなりうるものであり、引き続き当地治安情勢はこれまで以上に予断を許さない状況にあると言える。

(3) 主な内訳 (括弧内は、昨年を100%とした場合)

- ア 殺人及び殺人未遂：74件 (102.8%)
- イ 重度傷害：224件 (101.8%)
- ウ 強姦及び強姦未遂：19件 (158.3%)
- エ 強盗：37件 (97.4%)
- オ 略奪：344件 (80.9%)
- カ 窃盗：4617件 (87.1%)
- キ 詐欺：671件 (94.6%)
- ク 粗暴行為：8件 (53.3%)
- ケ 薬物の違法流通：1222件 (100.2%)

(4) 邦人被害事案

特になし

(5) 邦人以外の被害事案 (殺人・強盗等凶悪犯罪の事例) (詳細は別添の報道参照)

ア 強盗

本年10月から12月の間、郵便局を狙った強盗、女性が居住する住宅を狙った強盗事件がコルサコフ及びドリンスク地区で発生している。(詳細は、別添事件詳細記事参照)

イ 殺人、過失致死等

本年10月から12月の間、飲酒中の喧嘩から殺人に発展した事案、知人間の喧嘩及び夫婦喧嘩から殺人に発展した殺人事件がユジノサハリンスク、コルサコフ、ネベリスク、ポロナイスク、オハ等の都市で発生している。(詳細は、別添事件詳細記事参照)

ウ 暴行・傷害・強姦等

本年10月から12月の間、知人同士で飲酒中に喧嘩となり銃器を用いた傷害事件に発展事案、飲酒時のトラブルが原因による傷害事案、路上での酔払いの若者と帰宅途中の男性が言い争いとなり、銃器を用いた傷害事件に発展した事案が発生しているほか、深夜に女性を車に連れ込み強姦する事案、アルコール飲料の販売拒んだ店員に対する傷害事案がユジノサハリンスク、ティモフスク、オハ等で発生しており、特に銃器を用いた傷害事件の発生が多くなっている。(詳細は、別添事件詳細記事参照)

エ 窃盗等

本年10月から12月の間,窃盗事件に関してはサハリン州内の各所で頻発しており,空き巣,スリ等のほか,身内による窃盗事案,飲酒で酩酊状態にある者に対する窃盗事案等が発生している。(詳細は,別添事件詳細記事参照)

オ 薬物・銃器

本年10月から12月の間,サハリン州内では,大麻系薬物の違法所持,栽培事件,デゾモルヒネの違法製造,合成麻薬の違法販売,所持保管事案が発生しており,銃器事件としては,銃器を使用した路線バスへの銃撃事案,銃器及び手榴弾等爆発物の違法所持事案が発生している。(詳細は,別添事件詳細記事参照)

3 誘拐・脅迫事件発生状況

ユジノサハリンスク市内のショッピングセンターに対し,爆弾を仕掛けたとの脅迫電話があり,当地内務局,非常事態省が出動,買物客を避難させ,警察犬等を用い同ショッピングセンターの検索を行うも爆発物は発見されなかった。同脅迫電話を行った容疑者は後日,警察により拘束されている。(詳細は,別添事件詳細記事参照)

4 日本企業の安全に係る諸問題

特になし

別 添

事件詳細記事 (s a k h . c o m等から事件記事を引用)

1 強盗

- ① [強盗] 昨日 (10月29日) の夜, コルサコフ市レルモントフ通4に所在する郵便局で強盗があった。通信社への情報によると, 強盗現場に医療用マスクをした男が押し入り, ナイフで郵便局の職員を脅し, 出納係に現金を渡すよう要求した。犯人が強奪した金は約2万ルーブルになった。強盗の際, 郵便局には来客はなかった。事件の公式な説明はまだ行われていない。捜索活動措置が行われているとサハリン内務局のプレスセンターで通信員が伝えた。警察はその場でのコメントを拒否した。最近の郵便局の強盗は, 今年1月にユジノサハリンスクで起こっている。この際, 犯人は300万ルーブルを奪っており, 犯人は3日後に警察によって拘束された。
- ② [強盗] 11月7日, ウグレゴルスク警察において, シャフチョルスクのある建設現場で強盗があったとの通報を受けた。直ちに, この住所地に機動捜査班が向かった。建設現場では大陸から来た作業員が働いていた。被害者は建設現場の現場監督と部下の1人だった。この日, 作業員は月給を受取っていたことが分かった。作業員2人には, 自分らの月給があまりにも少なすぎると感じられた。彼達は, この現場監督に罪があると考えた。金を分配しているしているのは, 現場監督ではなく, 会社幹部であるとの現場監督の説明に彼らは満足しなかった。容疑者達は, 犯罪的手段により自らの報酬を増やそうと決め, 暴力により脅し, 被害者から携帯電話, ノートパソコン, その他の金品を奪い取った。事件は深夜近くに発生し, 被害者は, 翌朝に警察に届け出ることを決め, 就寝した。しかし, 犯人達には奪い取った物では不十分であった。犯行を行った後, 犯人達は, 去ることを決め, そして, あげくのはてに犯人達は, 犯人の内の1人がの被害者の頭を腰掛で殴った。被害者が床に倒れた際, 犯人達は彼を腕や足で殴った。偶然, 居合わせ目撃者となった労働者の内の1人が被害者を擁護することを決めたが, 彼も犠牲となり, 負傷した。その後, 犯人達は, タクシーをつかまえ, 姿を消した。そして, すぐに事件について警察に通報があった。警察が事件について認知するまでの間に, 犯人達は, シャフチョルスクを去り, ユジノサハリンスクに向かうことができた。犯人達の手配書はすぐさま, 全ての警察署に配られ, 捜索が行われた。数時間後, ドリンスク地区で犯人達は警察によって拘束され, ウグレゴルスクに護送された。拘束された者達はノボシビルスク地方に居住の男であり, 多数の前科があった。現在, 容疑者達は拘禁下での身柄保全措置になっている。刑事事件が提起された。
- ③ [強盗] 11月24日ドリンスク地区警察の当直部門に39歳ヴィコフ村の女性住人が訴え出た。女性は, 夜半ごろ, 彼女のアパートに暴力を用いて数人が押し入り, 財物

を盗んでいったと伝えた。犯人が盗んだ物は、電子レンジ、ビデオレコーダー、DVDプレーヤーだった。現場に機動捜査班が到着し、指紋を採取した。間もなく、犯罪に関与している者が特定された。犯人は、14歳と15歳の2名のヴィコフ在住の男であった。3人目の犯罪関与者がいたが、この犯罪行為の際、この者はまだ年齢が刑事責任を問うことができる14歳に達していなかった。窃盗物は所有者に返還された。

- ④〔強盗〕12月14日、ユジノサハリンスク市内務局当直部門において、ユジノサハリンスク市内のある商店で不明者がナイフで店員を脅したとの通報を受けた。直ちに事件現場に自動車パトロール隊が派遣された。現場に到着の際、警察官は警備員に確保されている男を発見した。犯人は拘束され、市内務局の当直部門に護送された。護送された男は、殺人の前科がある住所不定の49歳の男と分かった。容疑者は、店に入り、宿代を要求したが、店員が要求を拒否したと話した。その際、容疑者は、脅迫することを決め、ナイフを取り出した。店員は警報装置のボタンを押し、容疑者は、到着した警備員に拘束された。この事実に関し、刑事事件が提起され、容疑者は拘禁下での身柄保全処分となった。
- ⑤〔強盗〕12月15日、61歳のウグレゴルスク在住の女性が強盗の犠牲となった。以前被害者は、刑務所から出所してきた男と知り合った。男は、生計がなく、住むところもなかったことから、被害者女性は、この男を少しの間、自分の家に住ませたが、じきに、この男は金が必要となり、被害者のテレビを売ろうと考え始めた。しかし、被害者は男の行為を認めなかったことから、男が家財道具を家から運び出そうとした時、これを遮った。しかし、男は自分の身体的優位を利用して、被害者女性を突き飛ばし、女性は、倒れ、打ち傷を負った。その後、犯人は、家を出て、姿を消した。犯人の居場所は、短期間で判明した、犯人は、拘束され、警察署に護送された。刑事事件が提起され、容疑者は監視下にある。窃盗物は押収され、所有者の女性に返還された。
- ⑥〔強盗〕12月20日午後9時ころ、顔を覆面で隠した男がホルムスク市ペルボマイスカヤ通りにある商店に入った。拳銃の様な物で武装した犯人は、レジ係員に売上金を渡すよう要求した。犯人は盗んだ金（約4万ルーブル）を持って犯行現場から姿を消した。被害者はすぐに強盗について警察に通報した。捜査員は、容疑者が襲撃の後すぐに町を離れ、サハリンの北に向かう車で親戚のもとに向かったことを特定した。ホルムスク警察は、犯人が自分の母親のもとにいることをティモフスク警察に通報した。間もなく、ティモフスク警察の警察官が容疑者を拘束し、ホルムスク警察に護送した。犯人に話によると、犯行に使用した武器は、彼が使用していた空気銃であり、犯行後、海に捨てた。盗んだ金の一部は警察官によって押収された。男は、以前、殺人で裁判が行われ、7年間の自由剥奪刑となっていた。この事実に関し強盗の刑事事件が提起された。31歳の容疑者は拘禁下にある。

2 殺人,過失致死等

- ①〔殺人〕サハリン州捜査委員会ポロナイスク捜査課において、地区中央病院の救急救命科で頭部の多数の負傷により入院していた55歳の地元女性が亡くなったとの通報を受けた。法医学検査の結果により、女性は鼻の骨折により、出血し仮死状態となった結果、死亡した。刑事事件が提起された。犯罪を行った容疑により過去に前科がある31歳の被害者の息子が拘束され、容疑者に対し、拘禁付身柄保全措置が選択された。容疑者は、アルコール飲料を乱飲し、働かず、母親に扶養され、母親が容疑者を家から追い出そうとしたことが原因となったことが明らかとなった。10月4日の夜、容疑者である息子は、通りで母親と会い、容疑者が家に戻ることにについて母親と話し合うことを決めた。家に戻ることを拒否された容疑者は、母親を押し、母親は地面に倒れた。地面に倒れた母親の頭部を容疑者は、何度も足で蹴った。傷害を与えた後、容疑者は事件現場から姿を消した。被害者は病院に入院し、暫らくして、彼女は亡くなった。この刑事事件に関し、証拠の収集と確保の捜査が行われている。
- ②〔殺人〕10月6日、ソスノフスク村ノーバヤ通り14のアパートの1つで暴力による死の痕跡がある60歳のこのアパートの女性家主の遺体が発見された。遺体の法医学検査の結果、女性は、頸部の圧迫による窒息の結果、死亡した。この事実に関し、捜査課によって、殺人により刑事事件が提起された。容疑者は64歳の被害者の夫であることが明らかとなった。容疑者に対し、ドリンスク市裁判所によって在宅による身柄保全措置が選択された。捜査によると被害者と容疑者はアルコール飲料を乱飲していた。夫は、アルコール酔いの状態にあり、妻を殴った。10月6日、酔っていた容疑者は、妻にアルコール飲料の金を要求した。拒否された容疑者は、妻を殴り、その後、手で絞殺した。刑事事件に関し、証拠の収集と確保に関する捜査が行われている。
- ③〔殺人〕10月7日の深夜、サハリン州捜査委員会ユジノサハリンスク捜査課は、ユジノサハリンスク市アニワ通りとカルパツカヤ通りの交差点にある廃墟において、頭部に多数の肉体的負傷のある不明女性の遺体を発見したとの通報を受けた。法医学鑑定により、女性は、頭蓋内脳損傷により死亡した。刑事事件が提起された。現在、捜査委員会と警察の合同で総合的な捜査活動及び犯罪を行った個人の特定に向けた捜索活動措置が行われている。
- ④〔殺人〕10月13日、ユジノサハリンスク警察でラ-7ストチカ地区において2名のロシア人がナイフにより受傷したとの通報を受けた。事件現場に機動捜査班が到着し、園芸非営利会社「TURIST」の区域の1つの家で男性の遺体を発見した。被害者の胸部と頸部にはナイフによる傷があった。もう1人の男性は到着した救急隊により病院に搬送された。目撃者の話によると、飲酒の過程で妻と容疑者の間で喧嘩となった。喧嘩の際、被害者は妻を擁護し、そのせいで何度かナイフで刺された。その後、容疑者は更にもう一人の男性に襲いかかり、ナイフを捨て、何処かへ姿を消した。間もなく、州内務局の様々な部局及び市内務局に特別危険犯罪捜索の警報が発せられた。領域の警察署では同様に犯人の捜索を行った。殺人事件現場に到着した警察官は、近

接地区の捜査に着手した。数時間後、州内務局の刑事捜索局の捜査官は、非営利会社に隣接する住宅地で捜索対象者を拘束した。44歳の拘束者は、以前、個人に対する犯罪により厳重規則刑務所に9年間服役していた。

- ⑤〔殺人〕サハリン州捜査委員会コルサコフ捜査課において、11月3日、コルサコフ市コルサコフ通りのあるアパートで暴力による死の痕跡のある61歳の女性の遺体が発見されたとの通報を受けた。刑事事件が提起された。捜査によると、被害者と容疑者は、長年、親密な関係にあった。浮気のことを知っていた男は女性の下を訪れ、そこで喧嘩となり、女性は男を杖で一度殴った。容疑者の男は包丁を手に取り、女性に少なくとも6回、包丁で体を刺した。負傷により女性は亡くなった。犯罪行為の容疑により、49歳のコルサコフ在住の男が拘束された。容疑者に対する拘禁下での身柄保全措置の選択に関する捜査官の請願書が裁判所で採択された。
- ⑥〔殺人〕11月16日、サハリン州捜査委員会ネベリスク捜査課において、ゴルノザボツク村ソビエツキカヤ通4のあるアパートで暴力による死の痕跡がある64歳のこのアパートの男性家主の遺体を発見したとの通報を受けた。この犯罪行為の容疑で20歳と26歳の地元の男が拘束され、彼らに対しロシア連邦刑法典の殺人により刑事事件が提起された。現在、彼らに対して拘禁下における身柄保全処分に関する問題の解決が行われている。捜査で11月15日、酔っていた容疑者達は、上述の住所に到着し、そこで容疑者達と家主の間で喧嘩となった。喧嘩の過程で容疑者達は、家主を殴り、その後、容疑者達は、包丁を手に取り、被害者の体の様々な部分を包丁で何度も刺した。刺傷、切り傷により被害者の事件現場で亡くなった。証拠の収集と確保に向けた捜査活動が行われている。
- ⑦〔殺人〕12月6日夜、サハリン州捜査委員会オハ市捜査課において、同市ソビエツカヤ通36のアパートの入口付近で刺傷のあるポロナイスク出身の34歳の男性の遺体が発見されたとの通報を受けた。事件現場の捜索により、血痕がこのアパートのある部屋に続いており、そこで胸部に刺傷のある暴力による死の痕跡が認められる、この部屋の39歳の男性家主の遺体が発見された。同捜査課により、ロシア連邦刑法典に規定の殺人で刑事事件が提起された。前科のある38歳のオハ居住の男が拘束され、拘禁下における身柄保全処分措置に関する問題が検討されている。この刑事事件に関し、証拠の収集と確保、事件状況の確定に向け、捜査活動が行われている。
- ⑧〔殺人〕12月14日、サハリン州捜査委員会ポロナイスク捜査課において、背中、首、肩に刺傷がある23歳の地元男性が地区中央病院の救急救命科で亡くなったとの通報を受けた。この犯罪行為で24歳の被害者の同居女性に嫌疑が掛けられ、この女に対し、ロシア連邦刑法典に規定の殺人で刑事事件が提起された。捜査で、容疑者と被害者が住む家に友人が訪れ、そこで飲酒し始めた。飲酒の過程で被害者男性は容疑者である同居の女と客との関係に嫉妬し、同居の女を殴り始めた。容疑者の女はテーブルの上の包丁を手に取り、少なくとも3回、被害者男性の体を切りつけた。被害者男性は

病院に入院し、そこでしばらくして亡くなった。刑事事件捜査が続けられている。

- ⑨〔殺人〕12月14日、サハリ州捜査委員会ユジノサハリンスク捜査課において、ノバアレクサンドロフスク計画地区ミチュリナ通りのある家屋で暴力による死の痕跡がある45歳の住所不定の男性の遺体を発見したとの通報を受けた。男性の遺体は法医学鑑定に出され、その結果、胸部外傷及び腹腔内出血であると鑑定された。この事実に関し、殺人により刑事事件が提起された。この犯罪行為によりロシア連邦刑事訴訟法の規定で前科のある34歳の地元の男が拘束された。現在、この男に対する拘禁下での身柄保全処分措置の選択に関する問題が検討されている。捜査によると、被害者と容疑者は、友人の下を訪問し、飲酒した。容疑者と被害者の間で喧嘩となり、被害者は頭を冷やすためキッチンに向かった。しかし、容疑者は、被害者の後を追ってキッチンに行き、被害者を殴り、蹴った。その際、被害者は床に倒れ、動かなくなった。容疑者は部屋に戻り、就寝した。死亡した被害者の遺体は、翌朝、発見された。現在、この刑事事件に関し、証拠の収集と確保に向けた捜査活動が行われている。

3 暴行・傷害・強姦等

- ①〔傷害〕以前、オハの刑事課によって、11歳の未成年者のナイフによる怪我を負ったことに関し、刑事事件が提起されたと伝えた。この犯罪を行った容疑で24歳の地元の男が拘束された。本日、オハ市裁判所によって、容疑者に対する拘禁下での身柄保全処分の選択に関する調査請願書の審査が行われる予定である。捜査によると10月6日、被害者は従兄弟とともにアルコール酔いの状態にある容疑者の下を訪れた。被害者は、容疑者のところで盗まれた被害者の自転車を発見した。容疑者は、被害者を殴り、その後、キッチンに行き、ナイフを手に取り、被害者の胸部を一度刺した。現在も刑事事件の捜査が続けられている。
- ②〔傷害〕10月25日深夜、オハ警察において、リュブナヤ村の看護師から52歳の地元男性が射撃による両足の負傷で搬送されたとの通報を受けた。直ちに事件現場に警察官が向かった。痕跡をおったところ、犯人が特定された。犯人は、多数の前科がある53歳のロシア人だった。被害者はこの日の夕方、隣人のところに居たことが明らかとなった。夜半近くに容疑者が到着し、幾つかの個人的問題を解決するために自分のもとに招いた。男性は妻が被害者の男を愛しているのではないかとうらやんでいた。これが男同士の喧嘩の原因となった。犯人は家に到着すると被害者と妻の間柄について真実を求め始めた。しかし、これを否定する回答に彼は満足しなかった。その時、容疑者は猟銃を取り出し、被害者の足に3度射撃を行った。捜索の過程で警察官は、容疑者の自宅において、2丁の登録されていない銃及び実包を発見した。このほか、このロシア人は、以前、銃の不法保管で責任を追及されていたことが分かった。発見物は押収され、鑑定に送られた。重大な健康被害の故意の惹起により刑事事件が提起された。銃及び弾薬の違法保管の事実に関しても捜査が行われている。

- ③〔傷害〕 10月25日午後10時ころ、ティモフスク地区内務部において、ティモフスク市ハリノトノフ通りの住居の1つで銃撃があったとの通報を受けた。事件に関する情報は3名の被害者を病院へ搬送した救急隊職員から伝えられた。男性達の内1人は腹部の銃撃負傷と診断され、2名の男性は、身体負傷と診断された。彼らは全員、アルコール酔いの状態だった。直ちに、この住所に機動捜査班が向かった。しかし、銃撃犯の捜索は必要なかった。この際、男性は自ら警察に連絡し、自己防衛のために致死能力のない武器の使用に関して通報した。男性の言によれば、この日の夕方彼は仕事から帰宅した。帰宅の際、彼は上述の酔った若者達と建物の入口で言い争いとなった。彼らの内の1人がこのアパートに住んでおり、残りの2人はこの男の下を訪れていた。といてくれるよう頼むと若者達は暴言を吐き、家に向かう彼の通行を邪魔した。すぐにつかみ合いの喧嘩となった。喧嘩をしていた男の内1人は家に行き斧を持ってきた。正に生命の危機を感じた男性は、致死能力のない銃を取り出した。彼は上に向け発砲した。しかし、これは効果がなく、彼は若者の内に1人に向け5回発砲した。発砲した者も同様に医療支援を必要とした。警察官は事件現場を調査した。致死能力のない銃は登録されており、保管及び携帯許可を持っていたことが明らかとなった。事件現場から薬莖、斧及びプラスチックが押収された。この事件に関して捜査が続けられている。
- ④〔傷害〕 10月29日夕方、サハリン州内務局アレクサンドロフスク内務部の当直部門において、救急隊員から地区病院に予診室に銃撃による負傷を負った36歳の男性が搬送されたとの通報を受けた。男性は左のくるぶしを撃ち抜かれ、アルコール酔いであると診断された。被害者は、ミハイロフスク村から医療機関に搬送された。直ちに、被害者の住所地に機動捜査班が出発した。間もなく容疑者が拘束され、そして警察官は事件の状況を明らかにした。被害者と容疑者は、同じ村に住み、お互いを知っていた。双方のこの日、飲酒していた。容疑者が様々な人々を邪魔するかのよう四輪バギーを乗り回したことで住民との間で騒ぎとなっていた。喧嘩はすぐに殴り合いに発展した。その際、容疑者は、自身が所有する車庫まで行き、ショットガンを持ってきた。そして、相手が脅しで逃げ出すことを期待しつつ、地面に向けて銃を発射した。その後、容疑者は、もう一度、地面に向けて撃とうとしたが、被害者が銃を容疑者の手から叩き落そうとした際に足に向かって銃撃し、その結果、負傷した。捜査の過程で容疑者は、猟銃の所有登録を行っていなかったことが分かった。この銃は10年以上前に亡くなった知人から購入したと自ら説明した。重大な健康被害の故意の惹起により刑事事件が提起された。猟銃は押収され、鑑定に出された。このほか、容疑者に対し、飲酒状態での自動車の運転に関して行政法違反調書が作成された。
- ⑤〔傷害〕 11月14日深夜、ユジノサハリンスク警察の当直部門において、救急隊員からプーシキン通りの家の庭から病院にナイフにより重症を負った男性市民を搬送したとの通報を受けた。被害者は、左肺の受傷による気胸及び外傷性ショックと診断さ

れた。男性の怪我は喧嘩の過程で負ったことが明らかとなった。その日の夕方、被害者は、会社の友人の家の庭で休息していた。同様に飲酒していた近所の若い会社の同僚もその場にいた。宴会の最中、言い争いが発生し、喧嘩となった。喧嘩をしていた内の1人である32歳の男が被害者の胸部をナイフと手で殴った。その後、容疑者達は姿を消した。姿を消した者の内の1人である17歳の地元の男は、この機会を使って被害者から1万ルーブルの携帯電話を奪うことを決めた。24時間の当直中、サハリン警察刑事課の警察官は事件状況を再現し、容疑者を拘束した。32歳の容疑者は、以前も傷害で刑事責任を問われて、その際も拘束されていた。2名の容疑者に対し、刑事事件が提起された。窃盗物は押収され、間もなく所有者に返還される予定である。

- ⑥〔強姦〕サハリン州捜査委員会ユジノサハリンスク捜査局捜査課において、22歳の地元の女性から11月15日深夜、暴力と殺すとの脅迫により同女性を強姦し、暴力的なセクシャルハラスメント行為を行った身元不明の男性に対する刑事責任の追及に関する申告を受けた。この事実に関し、同捜査課は、ロシア連邦刑法典の強姦及び性的な性格の暴力行為により刑事事件を提起した。捜査活動及び捜索活動の結果、この犯罪行為に関与したと供述した31歳、30歳及び29歳のキルギスタン国籍の男が拘束された。現在、彼らに対する拘禁下における身柄保全処分措置の選択に関する問題の解決が行われている。捜査により、11月15日深夜、容疑者の内の1人が、被害者に家まで送ると誘った。その後、被害者は自動車に乗ると、そこにはすでに2人の若い男が座っていた。容疑者達は被害者をショッピングセンター「シティーモール」に連れて行き、そこで殴り、殺すと脅し、強姦したうえ、暴力的なセクシャルハラスメント行為を行った。この事件に関し、証拠の収集と確保に向けた捜査活動が行われている。
- ⑦〔傷害〕11月29日日曜日、コルサコフ地区中央病院において、32歳の地元男性を収容した。患者は、アルコール酔いの状態であり、左肩を撃ち抜かれ、骨折していた。医者は、事件に関してコルサコフ地区内務局当直部門に通報した。事件現場へ直ちに機動捜査班が出発した。捜索活動措置の結果、銃撃を行った男が特定され、拘束された。犯人は、63歳のフトラヤ・パジ村居住の男であることが分かった。犯人の住居地では、捜索が行われ、その結果、住居の2階に保管されていた単銃身の猟銃「I J」を発見、押収した。犯人は、猟銃の許可証を持っていなかった。なぜなら、犯人の話では、90年代の中頃、アレクサンドルという男から貰ったものである。このほか、犯人の家から2発の猟銃弾及び外見上は銃弾と類似した11個の物件が押収され、犯行の状況が明らかとなった。説明によると被害者は、客として容疑者のもとを訪れていた。彼らは飲酒し、そして、間もなく喧嘩となった。被害者は容疑者に飛び掛かり、拳で殴った。そして、容疑者は被害者の肩を銃撃した。この事実に関し、捜査が行われている。犯人が持っていた銃弾様の物は没収され、弾道鑑定に出された。

- ①〔窃盗〕 11月20日,司法機関職員による,ネベリスクでの活動措置の結果,数名を拘束した。拘束は港町のあるアパートで行われ,目撃者により,数名のネベリスク在住の男が拘束された。事件を起こした者を監視していた2名が,家主がいない間の状況を利用することを決めた。その日の午後,隣の家に住む18歳の男が拘束された男のアパートに侵入することを決めた。室内に入り,犯人は財布と建築工具のみを見つけた。犯人はそれらの物を自宅に持ち去った。被害は,1万7000ルーブルになった。同時に盗みに入ったアパートの窓の直下では,ゴルノザボーツク在住の18歳の男が暗躍していた。彼の目的は,上述のアパートの居住者の内の1人の自動車を盗むことだった。犯人は,自動車を始動させ,何処かへ走り去った。しかし,犯人の内の1人は,自らの勝手放題を満喫することができなかった。犯罪行為に関して,サハリン州内務局刑事課とネベリスク地区内務部によって明らかにされた。警察による組織的に短期間の捜索活動措置により,容疑者達は拘束された。容疑者達の住居の家宅捜索の過程で,窃盗物が発見,押収された。犯人により乗り逃げされた自動車は所有者に返還された。両事件に関し,刑事事件が提起され,容疑者達は在宅起訴された。
- ②〔窃盗〕 12月10日,ユジノサハリンスク市内務局当直部門に計画地区ルゴボエの女性住人が訴えた。まだ,彼女は工作中であり,何かが彼女の家に侵入し,家財道具と現金を盗んだ。刑事課の捜査員は,状況を理解し,容疑者を発見した。犯人は警察署に護送され,そこで犯行について認め,手口を供述した。12月10日,容疑者は,ルゴボエのあるショッピングセンターに行き,ブティックで試着した。容疑者は試着室に店員の住所が記載されている身分証明書及び家の鍵が入ってハンドバックがあることに気付いた。容疑者は鍵を盗むとすぐにショッピングセンターを出て,被害者の家に向かった。容疑者は被害者の家から貴金属,現金,様々な書類,コスメ製品を運び出した。残念ながら容疑者は窃盗物の販売を先送りすることなく,貴金属は売却し,現金は使われ,書類は捨ててしまっていた。拘束の際,容疑者はコスメ製品だけ所持していた。刑事事件が提起され,容疑者は拘束されている。
- ③〔窃盗〕 12月11日,サハリン州内務局の当直部門において,時計を販売しているある店から陳列棚に陳列していた商品の1つが盗まれたとの申告を受けた。ある男性が店を訪れた後,価格9万5300ルーブルの有名ブランドの時計が無くなった。男性は,丁度無くなった時計の下段にあった時計を見せるよう店員に依頼した。犯人はこの状況を利用して,陳列棚を開けさせ,店員が違う方向を見ている間に,陳列物をポケットにしまい込み,姿を消した。捜索活動措置の結果,犯人は拘束された。盗まれた時計は,犯人が3000ルーブルで売却していた。刑事事件が提起され,容疑者は現在地を離れない旨の誓約書へのサインによる身柄保全処分となった。
- ④〔窃盗〕 12月25日,ウグレゴルスク地区警察の捜査課は,金銭窃盗を行った25歳の地元の男に対する刑事事件捜査を終了した。この男はある食料品卸売りに就職していた。被告人は数ヶ月に亘り,荷役作業員及び商品マネージャーとして勤務し

ていた。時々、常連客達は、事前に注文した商品の支払いを次の商品の納入まで支払いを延期するよう依頼することを知って、男は、売り上げから現金を盗むことを決めた。計画は簡単だった。被告人は、商品を注文した店に搬入し、現金を受取った。しかし、その後、被告人は、受取った金を会計士に支払わず、そして、商品購入者は、少しの間、支払いを延期してほしいと依頼してきたと会計士に話した。そのような方法で、男は総額4万4660ルーブルの6回分の売上金を盗んだ。盗まれた売上金の一部は発見され、所有会社は、警察に申告書を提出した。

5 薬物・銃器

- ①〔銃器〕 10月1日、数台の路線バスの運転手が警察で証言した。今日、9月3日のように再び、運行中に銃撃された。今回は多数の我々の路線バスが銃撃されたと整備士が語った。6台のバスが損害を受けた。コルサコフ地区のトレチエパジ地域、シティーモール周辺、ウクラインスカヤ通りとレーニン通りの交差点、サハリンスカヤ通りとジェズナダロージナヤ通りの交差点、ミツレフスキーとボストークの間で銃撃された。この全ては今日発生している。ある路線バスの運転手の話によると、今朝、彼はコルサコフに乗客を運搬し、トレチエパジ地域である車と並んだ。その際、発射音が鳴り響き、側面のガラスが割れた。この銃撃では誰も負傷していない。路線バスの所有者は、これはライバル会社の陰謀だと考えている。サハリン州内務局は、3名の路線バス運転手からの申告に基づき捜査を行っている。警察官が事件現場に向かい、事件の目撃者から話を聞いている。
- ②〔薬物〕 10月8日、「クロコダイル」の隠匿場所がサハリン州麻薬流通対策局の捜査員により閉鎖された。麻薬流通対策局捜査員の情報調査の過程で、ユジノサハリンスク市ユジノサハリンスカヤ通りのある家の近くにあった「デゾモルヒネ」の製造と使用のために備え付けられたコンテナを発見した。麻薬流通対策局の捜査員は、6名のユジノサハリンスク在住者の男を拘束した。彼らの内、37歳のロシア人は、麻薬の違法流通の前科があり、コンテナの所有者であることが分かった。麻薬流通対策局の捜査官は、注射器、コデイン含有の製剤が入った包みを押収した。押収物は鑑定に送られた。現在、捜査が行われており、結果によっては、麻薬隠匿場所の所有者は責任を問われることとなるだろう。
- ③〔薬物〕 10月29日、サハリン州北部の2人の居住の男に対して、麻薬の違法流通に関する犯罪で2件の刑事事件が提起された。男性はティモフスクの近郊の森林地帯においてハシシオイルを製造するために大麻を栽培し、その後、知り合いとともに麻薬を客に売りさばっていた。捜査活動措置の結果、麻薬の定期販売行為後、その者達は現行犯で捕まった。麻薬流通対策局捜査員による彼らの身体検査の過程でハシシオイルを発見、押収した。最近、大麻が収穫された大麻畑の所有者が集まる隠れ家が発見され、約7キログラムの大麻あった。サハリン州麻薬流通対策局の捜査官によって、こ

の者達に対して、2件の刑事事件が提起された。

- ④〔薬物〕11月8日、警察によって、数ヶ月の入念な捜査活動の結果、特別作戦が行われた。警察官は、ユジノサハリンスクのあるアパートに居住の麻薬の売人を拘束した。数時間、警察官はこのアパートを監視したが、麻薬使用者は来なかった。警察官は強襲することを決定した。犯人の確保は、州内務局の支援を受け行われた。到着した犯人を拘束し、刑事課に護送し、そこで身体検査を行う過程で、拘束者から黒色の物質が入ったビニール袋を発見、押収した。彼はその物質を売人から入手していた。ビニール袋の中は鑑定結果から1774グラムのハシシオイルがあった。この際、刑事捜索班は、容疑者のアパートの検査を行い、売人の男とその同居者が居たアパートの捜索活動を行った。捜索には、捜索活動班のほか麻薬探知犬が投入され、寝室でシャンプーが入っていた2本の容器が発見された。捜索員がプラスチックの容器を開けると、その中から特殊な臭いの黒色の物質を発見した。その後の犯人のアパートの捜索の過程で、警察官によって、タンスの引き出しの中から同様の物質が分包されたビニール袋17袋が入った財布を発見された。このほかに、更にテレビ台からもビニール袋が発見された。アパートの家主自らが、全ての発見物は、彼が自己で使用するため、知り合いの1人から入手したと説明した。シャンプーの容器はサハリン州内務局犯罪鑑定センターに鑑定に出された。鑑定官は、内部にあった物質はハシシオイル499グラムであると結論づけた。発見されたビニール袋、事件現場で押収された麻薬を製造するために使用された物品もまた鑑定に出された。容疑者の前科のある45歳の男は拘束された。容疑者に対し、地域住人への麻薬の販売の事実によりロシア連邦刑法典の麻薬又は向精神薬の不法な製造、取得、所持、運搬、送付若しくは販売により2件の刑事事件が提起された。
- ⑤〔銃器〕11月10日、サハリンにおいて、武器と弾薬の2つの押収事実が記録された。それら記録された事実の内の1つは、スミルヌィフ地区内務部によって記録された。ブユコラ村居住の55歳の男の住居の検査過程で、猟銃「TOZ-BM-16」、16口径の銃弾、黒色火薬2瓶を発見、押収された。猟銃の保管、携帯権の許可書類をアパートの所有者は提示することができなかった。同様の事案がホルムスク地区のピオネール村で発生した。53歳の地元の男の住居の検査の過程で4発の猟銃弾、黒色火薬入りの瓶、日本製の口径30ミリの弾25発が発見、押収された。両事件の全ての押収物は、サハリン州内務局犯罪鑑定センターに鑑定に出された。
- ⑥〔銃器〕11月17日、違法な弾薬が「アルセナル」（弾薬庫）作戦により、サハリンの住民から発見、押収されたとサハリン州内務局が伝えている。52歳のノバアレクサンドロフスク在住の男が自分のガレージに口径5.45の弾薬112発、口径7.62の弾薬85発、様々な口径の弾薬37発のほか、66発の類似した弾薬を保管していた。弾薬は押収され、鑑定に送られた。弾薬の所有者はおそらく刑事責任に問われるだろう。アレクサンドロフスク・サハリンスキーの警察は、27歳の地元の男の

住居で小口径の猟銃「TOZ-63」を発見した。捜査は、銃器は手製で、射撃することが可能なことを明らかにした。この事実に関し、刑事事件が提起された。通信社が明らかにしたところによると、今年初めからだけで、司法機関職員はサハリン島領域の住民から拳銃、手榴弾、弾薬、火薬及びトリニトロトルエンを押収した。このほか、森林地帯、廃墟等で大砲、対戦車砲弾が発見されている。

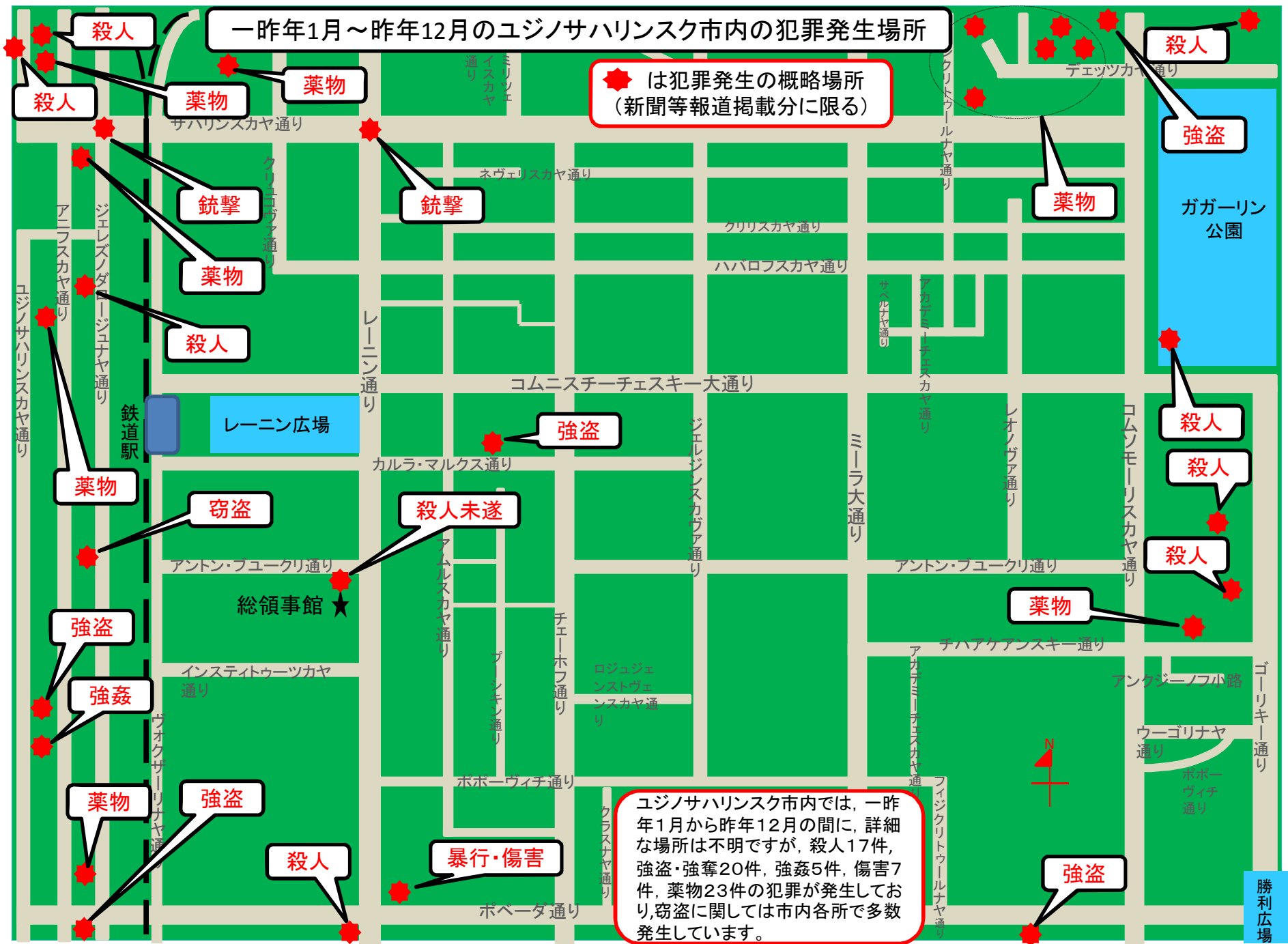
- ⑦〔薬物〕 11月26日、ユジノサハリンスク警察の警察官によって、ユジノサハリンスク市内のあるホテルにおいて、多量の麻薬を所持していた市民が拘束された。ノリリスク出身の21歳の男は、サハリン州内に居住していた。その若者は自白した。彼は、サハリン州領域での麻薬販売の複雑な仕組みの一部分だった。犯人は、このようなことを市内全域で行い、所謂、供給者だった。犯人は、自らの顧客に電話し、地域の外れにある麻薬隠匿場所を伝えた。伝播者達は、インターネットを通じて顧客を探し出し、代金支払い後、麻薬のある場所が顧客達に伝えられた。捜査員達は、容疑者から白色の粉末物質が入った紙包み2包、同様の物質が入ったビニール袋2袋、ジッパー付袋10袋、喫煙用具、その他の証拠品を発見した。押収物は、警察の犯罪鑑定センターに送られた。鑑定官は、全ての押収物がロシア連邦の法律で禁止されている麻薬であることを確認した。押収麻薬の全重量は191.94グラムだった。麻薬又は向精神性剤の不法な製造、取得、所持、運搬若しくは販売により刑事事件が提起された。容疑者は現在、拘禁下にある。
- ⑧〔薬物〕 サハリン州流通麻薬対策局の捜査員が沿海地方からサハリンへのハシシオイルの供給経路を断った。捜査措置活動の結果、流通麻薬対策局の捜査員によって、49歳のユジノサハリンスク在住の男及び共犯者の26歳の女が犯罪ビジネスを行っていたことが明らかとなった。女は麻薬を大陸から運び、その後、麻薬を売人である知り合いに渡していた。犯罪グループには、既に顧客がいた。犯罪グループのメンバー、麻薬の購入者7名はサハリン州流通麻薬対策局の捜査員によって拘束された。違法流通していた15万ルーブル以上のハシシオイルが押収された。犯罪が行われた当時、彼女には幼稚園児になる子供がいたが、父親に引き取られた。流通麻薬対策局の捜査員によって、組織犯罪ビジネスに対して刑事事件が提起され、容疑者達は、ユジノサハリンスク裁判所により拘禁下での身柄保全処分となった。
- ⑨〔薬物〕 アゼルバイジャン人がユジノサハリンスクにおいて大麻の供給、販売を行っていた。容疑者の内の1人は、ロシアに居住し、何人かの犯人と共謀して犯罪に加わっており、この情報はまだ広報されていない。男は、大麻を販売する目的でサハリンにやってきた。捜査活動の結果、犯罪は暴かれ、麻薬の買受人及び共犯者の内の1人が拘束された。サハリン州麻薬流通対策局の捜査員は、30グラムの大麻を発見し、そして、森林地帯にある麻薬の隠し場所において、更に、煉瓦状に固められた大麻800グラムを発見した。犯罪グループの関係者に対し、刑事事件が提起された。ユジノサハリンスク市裁判所によって、容疑者の内の2人に拘禁下における身柄保全措置が選択さ

- れ,捜査が行われている。この犯罪の最高刑は20年の自由剥奪になる可能性がある。
- ⑩〔薬物〕サハリン州麻薬流通対策局の捜査員は,州内でハシシオイルの販売を行っていた2名のサハリン居住の男を拘束した。麻薬流通対策局の捜査員によって,40歳の男と36歳の共犯者の男がハシシオイルの販売を行っていたことが明らかとなった。犯人達は,拘束された4名の買受人に麻薬販売を行った後に拘束された。違法取引による約7万ルーブルのハシシオイルは押収された。刑事事件が提起され,容疑者達に対して現在地を離れない旨の誓約書による身柄保全措置が取られた。
- ⑪〔薬物〕捜査員が郵便局の建物の近くで郵便局でアムール州からの小包を受取った麻薬の運び屋を拘束した。小包の中には,麻薬入りパッケージが入っているブリキ缶があった。容疑者に対し,現在地を離れない旨の誓約書へのサインによる身柄保全措置が選択され,2件の刑事事件が提起された。12月11日にサハリン州内務局刑事課の警察官は,コルサコフ在住の37歳の男を拘束した。男は警察のマークされていた,なせならば,男には前科はなかったが,サハリンに麻薬を入れる計画の一部に関与していると十分な嫌疑があった。男は,郵便局でアムール州からの小包を受取った直後に,郵便局の建物の近くで拘束された。この小包を開けると,その中には新聞紙で包まれた白色のブリキ缶があった。一見したところ,内部には脂肪に似たゼリー状の物質があった。しかし,更に詳しく調べたところ,警察官は脂肪状の液体に沈んでいた褐色の物質が入ったビニールを発見した。この物質をサハリン州内務局犯罪鑑定センターで鑑定したところ,72.28グラムのハシシオイルであることがわかった。その後,容疑者の家の捜索を行ったところ,警察官は麻薬の入ったビニール袋を発見した。この37歳の容疑者は,戸棚の下に植物由来の物質の入ったビニール袋を保管していたことが分かった。鑑定官が鑑定したところ,このビニール袋には4.29グラムのハシシオイルが入っていたことが確認された。この事実に関して刑事事件が提起された。

6 その他

- ①〔脅迫電話〕サハリン州内務局刑事捜査課の警察官は,爆発物の設置に関して通報したロシア人を犯行直後に拘束した。10月21日午前11時28分,警察の当直部門は,ショッピングセンターの1つに爆発物を設置したとの通報を受けた。数分の間に事件現場に機動捜査班,パンドラー2名と警察犬,専門部局職員ほか,市の全て非常事態局職員が到着した。買物客及び店員はショッピングセンターから退避させられ,建物の周辺地区は封鎖された。そして,警察官によって付属道路は閉鎖された。バンドーと警察犬は駐車場,そこに駐車していた自動車,その後ショッピングセンターの全ての場所を検査した。平行して同時に警察の機動班が電話をしてきた個人を特定するための措置を行った。その個人は,38歳のユジノサハリンスク居住の男と分かり,

男は拘束された。現在、電話をした動機を究明しており、刑事事件の提起に関する問題の決定が行われている。爆発物はショッピングセンターの建物で発見されず、封鎖は解除された。



一昨年1月～昨年12月のユジノサハリンスク市内の犯罪発生場所

★ は犯罪発生の概略場所
(新聞等報道掲載分に限る)

ユジノサハリンスク市内では、一昨年1月から昨年12月の間に、詳細な場所は不明ですが、殺人17件、強盗・強奪20件、強姦5件、傷害7件、薬物23件の犯罪が発生しており、窃盗に関しては市内各所で多数発生しています。

勝利広場